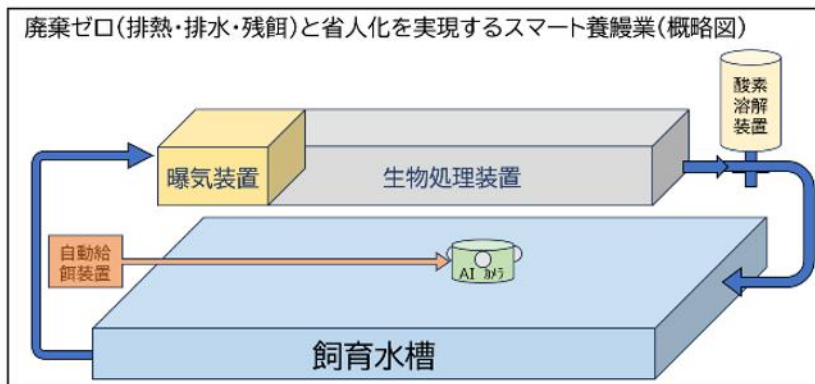




養鰻業の業態転換！廃棄ゼロ(排熱・排水・残餌)と省人化を実現する 持続的なスマート養鰻業



(株)海みらい研究所は、大切な日本のウナギ食文化を守るために、養鰻業の業態転換を行い持続的な漁業生産を目指す目的で、持続可能なスマート養鰻業を実現し、全国の養鰻業への普及を目指しています。具体的には下記のとおりです。

- ・天然シラスウナギの廃棄ゼロを実現する成長の遅れた既養殖ウナギ(通称ビリ)の再利用
- ・排熱・排水ゼロを実現する閉鎖循環式飼育
- ・廃棄飼料ゼロを実現し後継者不足や労働人口減少の解決を目指した省人化の実現

【主な取組み】

■ニホンウナギの完全養殖の研究

「ウナギ仔魚養殖用飼料および養殖装置」((株)ニデックと共同特許出願申請中:特開2021-52650)の実証実験を通して、ふ化後の仔魚(プレプトセファルス)からシラスウナギまでの飼育技術の確立を実現する研究に取り組んでいます。

■廃棄されるウナギの頭を使った魚醤の開発

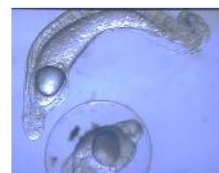
(株)あつみとイチビキ(株)と共同で開発した魚醤「鰻能」は令和3年度優良ふるさと食品中央コンクール「農林水産大臣賞(新技術開発部門)」を受賞。

■天然ウナギの涵養の取組

天然ウナギの涵養を目指す「石倉かごモニタリング」の取組を産官学連携で実施。

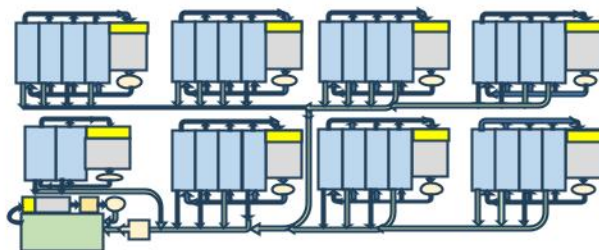
■(一般社団法人)海と日本PROJECTin愛知県の取組

代表理事として、オールジャパンで推進するプロジェクトを通して、海の現状を伝え海を未来へつないでいくために取り組んでいます。



2030年SDGsのゴールに向けて

- ・スマート養鰻業を事業化することで、従来の養鰻業の業態転換を図りながら、廃棄ゼロ(排熱・排水・残餌)と省人化を実現する持続的な養鰻業を実現します。
- ・本事業の養鰻システムの有効性を実証し、養鰻経営の安定化と後継者の確保等を実現することで、持続可能で将来性の高い水産業として全国展開を目指します。



株式会社 海みらい研究所
Marine Future Laboratory Co.,Ltd.



住所:〒441-8026 愛知県豊橋市羽根井西町6-12-301
電話番号:0532-32-7728 090-1097-2172
担当者:代表取締役 丸崎 敏夫
主要業務:研究、コーディネート業、ドローン関連業務等
ホームページ:<https://www.marinefuture-lab.com/>